



■ 定格総荷重表

① アウトリガ使用 [ブーム]

単位: (t)

	アウトリガ最大張出(6.6m)			一全周一
ブーム長さ 作業半径	9.35m	16.4m	23.45m	30.5m
2.5m	25.0	18.0	12.5	
3.0m	25.0	18.0	12.5	
3.5m	25.0	18.0	12.5	8.0
4.0m	23.5	18.0	12.5	8.0
4.5m	21.5	18.0	12.5	8.0
5.0m	19.6	18.0	12.5	8.0
5.5m	17.8	17.0	12.5	8.0
6.0m	16.3	16.0	12.5	8.0
6.5m	15.1	15.0	12.25	8.0
7.0m		14.0	11.5	8.0
8.0m		11.4	10.2	8.0
9.0m		9.3	9.0	8.0
10.0m		7.8	7.6	7.15
11.0m		6.5	6.65	6.4
12.0m		5.55	5.8	5.6
13.0m		4.75	5.0	4.9
13.5m		4.45	4.65	4.6
14.0m			4.35	4.4
15.0m			3.85	3.9
16.0m			3.4	3.45
17.0m			3.0	3.05
18.0m			2.65	2.7
19.0m			2.35	2.4
20.0m			2.1	2.15
20.5m			2.0	2.05
21.0m				1.95
22.0m				1.75
24.0m				1.4
26.0m				1.1
27.9m				0.9
A(°)	0~84			

A:ブーム角度の範囲(無負荷時)

	25tフック (主巻)	4tフック (補巻)
フック質量	220kg	60kg
最大巻掛本数	8本	1本

①アウトリガ使用時の注意

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてクレーンを水平に設置した状態での値で、ブーム作業時はつり具と主巻フック質量(220kg)を、ジブ作業時はつり具と補巻フック質量(60kg)を含んだ値です。太線より上はクレーンの強度によって定められ、下はクレーンの安定度によって定められています。
2. 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、ブーム作業時は必ず作業半径を基準にしてください。
3. ジブの定格総荷重は、ブーム長さ23.45m以下と23.45mを超えた場合で異なります。
4. ジブ作業は、ブームの角度を基準にしてください。なお、作業半径は23.45mおよび30.5mブームにジブを装着した場合の計算値であり、実際の作業半径とは異なる場合があります。
5. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重より160kgを差し引いた値とし、つり具と補巻フック質量(60kg)を含んだ値で、かつ限度は4.0tです。
6. 高速巻き下げは、フックのみを降下するときを使用してください。また、急激なレバー操作は避けてください。
7. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当り主巻3.6t以下、補巻4.0t以下としてください。

ブーム長さ	9.35m	16.4m	23.45m	30.5m	ジブ,シングルトップ
巻掛本数	8	6	4	4	1

8. ジブにおけるフックのワイヤロープ巻掛本数は1本です。
9. 側方域でのつり上げ性能は、アウトリガ張出幅によって異なります。張出幅に応じた性能で作業をしてください。
また、前方・後方域でのつり上げ性能は「アウトリガ最大張出」の定格総荷重ですが、アウトリガ張出幅によってその前方・後方域の範囲(角度a)が異なります。

X型	張出幅	中間張出 (6.1m)	中間張出 (5.0m)	中間張出 (3.6m)	最小張出 (3.1m)
	角度 a°	45	25	15	10

H型	張出幅	中間張出 (6.1m)	中間張出 (5.0m)	中間張出 (3.6m)	最小張出 (2.3m)
	角度 a°	45	25	15	5

